

企画名：岐阜県の給食オーガニック化を進める上映会

団体名：給食ネットワーク岐阜

1. 報告要旨

申請当初 7 会場を予定していた。2022 年に上映出来なかった県西部を中心に計画したが、実施できたのは 4 会場になってしまった。神戸町と恵那農業高校で追加の上映ができたことはよかったし、星信彦氏の講演会が開催できた事も大きな成果だった。主催予定者の体調不良や調整不足で 3 会場で未開催になってしまった事は残念だったが、恵那農業高校で高校生 140 人を対象にした上映会が出来た事と、星信彦氏の講演会が出来た事は、今後の新たな展開につながる大きな成果だった。

2022 年の上映ツアーで周辺市町村へも広く呼びかけたため、かえって新たな地域での盛り上がりに欠けた面も感じられた。また、前年までの上映ツアーの成果として、給食や農業のオーガニック化が徐々に進んでおり、関心が給食とマルシェ実現化に向かった。また「いただきます」「夢見る小学校」等の教育映画が続々と登場し関心がそちらに向いた事も変化の要因となっている。

ネオニコチノイドの危険性を訴える上映会に暗いイメージを持ち、それよりも明るいイメージの教育映画やマルシェの開催にエネルギーが向かった感がある。

星先生の講演会を契機に名古屋経済大学、神戸大学との連携が深まった。また恵那農業高校での上映会を皮切りに、県内の農業高校での上映会実現に向けて検討を進めている。

2. 成果物

1. [瑞浪市会場](#) 「希望の給食」上映会、ネオニコチノイドの危険性に関する講演、オーガニックマルシェ同時開催 参加者 80 人、マルシェ参加者 120 人 (2023.5.14)
2. [海津市会場](#) 「食の安全を守る人々」「静かな汚染、ネオニコチノイド」上映会 参加者 20 人 (2023.5.21)
3. 恵那農業高校 「食の安全を守る人々」上映会 参加者 140 人 (2023.11.13)
4. [神戸町会場](#) 「食の安全を守る人々」「浸透性農薬〈ネオニコチノイド〉はヒトにとって安全か？」上映会 参加者 30 人 (2023.11.19)
5. 関市会場 「食の安全を守る人々」上映会 参加者 20 人 (2024.12.27)
6. [犬山市会場](#) 星信彦氏講演会 参加者 50 人 (2024.2.10)
7. [各務原市会場](#) 星信彦氏講演会 参加者 30 人 (2024.2.11)